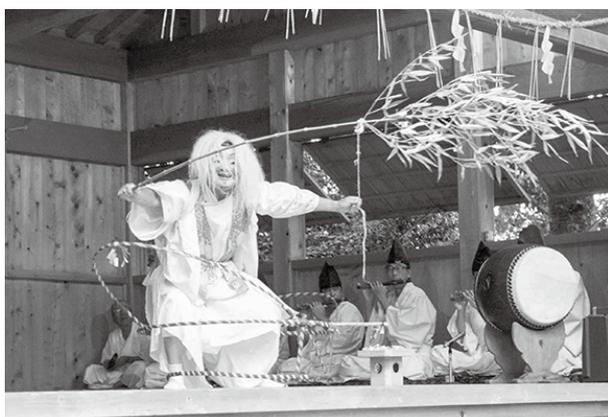


10/17

五穀豊穰を感謝し、室町時代から継がれる歌と舞

市内山家の山家宝満宮で毎年10月17日に行われる山家岩戸神楽。今年も農作物の豊作を氏神に感謝し、山家岩戸神楽保存会と山家小学校神楽クラブによって奉納されました。

山家岩戸神楽は約460年前から伝承されている出雲系の里神楽で、「岩戸」は、「天の岩戸にこもっていた天照大神（あまてらすおおみかみ）が出てきて、暗かった世



釣りざおを振り下ろし、観客のおひねりを釣り上げる「事代」

市指定山家岩戸神楽無形民俗文化財 山家岩戸神楽

界が再び明るくなった」という古事記の一説に由来しています。

山家岩戸神楽の全18番のうち、客席に水をまく「荒振神」や、子どもの健やかな成長を願う儀式もある「問答鬼」など、13番の演目が披露され、地域の皆さんや、山家小学校の児童などの観客は、舞や歌詠みを楽しんでいました。



山家小学校神楽クラブによる「四神」

10/21・22

おかげさまで好評! 筑紫野の美味しいサイダー

水道事業開始60周年記念サイダーを配布

10月21日、22日に開催したパープルプラザフェスタで、来場者にサイダーを配りました。

このサイダーは市の水道事業開始60周年を記念し、市内山口の山口浄水場の水を使って製作したものです。

サイダーは子どもを中心に大変好評で、2日間とも用意した900本ずつを2時間で配り終わりました。

これからも人と水をつなぎ、安全安心な水を安定供給できるように努めていきます。



10/18

地域と共に歩むライフラインとして

「ふれあいガスまつり」の募金を預かる

市内紫の筑紫ガス株式会社が9月16日(土)にカミリーヤで開催した「ふれあいガスまつり」で平成29年7月九州北部豪雨の復興支援のため募った義援金を、この日預かりました。日本赤十字社を通し、被災地支援に役立てます。

筑紫ガスの前田専務は「地域があってこそそのガス供給。いかに地域に貢献するかを考えるとともに、災害対策も行っていきます」と話してくれました。



藤田市長（左）に義援金を手渡す前田専務（右）